



ゆくて遥かに

令和元年 10月21日 (月)

第79号

長野県松本深志高等学校長

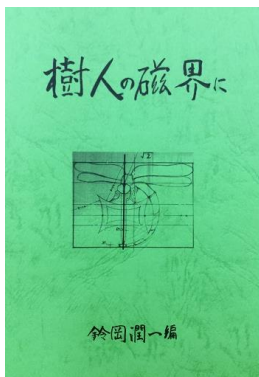
樹人の磁界に (10月10日)

校長室にある小林有也先生の石膏像の上に「百季樹人」と書かれた扁額が掲げられています。この額は、創立100周年記念の折に当時の和合正治松本市長(松中55回)から寄贈されたもので、書は李穀摩(リ・クウモ)という台湾の書家によるもの。教育は百年の計というような意味なのだそうです。扁額については何かの機会にまた触れるとして、このたび、深志21回卒で、本校にも長い間教諭としてご勤務された鈴岡潤一様から、「樹人の磁界に」という著書を、在校生全員に1冊ずつご寄贈いただきました。



この本は、2005年(平成17年)から2013年(平成25年)のPTA会報に連載されたリレー随想を基にしてまとめられたものです。書き手は名だたる方々ばかりですが、書かれている

内容も、深志人物誌や九十年史、深志百年にも匹敵するような、大変興味深く、貴重な内容のものばかりで、ズシリと読み応えがあります。編集後記には、「(編集の)作業の過程で浮かんできたのは『非連続の連続』という言葉である。直接に繋がっていないにもかかわらず、何か繋がっているように感ずるものがある。繋がっているように感じさせるもの、またはこととは何だろうか。そう考えて浮かんできたのは『樹人』という言葉だった。百年の計は人を育てるにある。そうした『樹人』の営みが、旧制松本中学・新制深志高校という磁界の中に、自在に存在している。そんな風に見えてきた」と書かれています。ぜひご一読ください。



陸上部壮行会 (10月18日)

先ごろ行われた陸上新人戦県大会で、2年の山口さんが女子5000m競歩、後藤さんが女子棒高跳び、1年の田中くんが男子走り高跳びで、それぞれ北信越大会への出場権を獲得していますが、その壮行会が開かれました。主催はもちろん応援で、18日の昼休み、会場は小体育館です。自治



を叫び、選手代表挨拶、生徒代表挨拶、応援歌「蜻蛉ヶ丘に」と会は進行。この日は卒業アルバムの写真撮影が重なるという悪条件でしたが、志ある校友が陸上部の健闘を祈り、激励しました。

高校生プレゼンテーション大会 (10月20日)

第5回長野県高校生プレゼンテーション大会が、塩尻市のグレイスフル塩尻13階の地域交流ホールで開催されました。この大会は、第1回から高校生たちが高校生だけで企画・運営を行っています。実施要項では、この大会の目的を「3つの場づくり」として、①幅広い年代、様々な職業の方に高校生の思い・アイデアを知ってもらい、多くの人とつながる場にする。そして、次の行動につながっていくような高校生のアイデアの「実現の場」 ②自分が取り組んでいること、自分



たちの地域について考えていること、今自分が持つ熱い想いを多くの人に知ってもらう「発表の場」 ③プレゼンテーションを聴き、自分にできることを考え、新たな一歩を踏み出せるような「きっかけの場」、と書かれています。今回は全県から 13 のプレゼンテーション参加がありましたが、高校生のしなやかな感性と斬新な切り口が随所に感じられて、いずれの発表も、とてもレベルの高い内容となっていました。探究的な学びの取り組み

が各高校で進み、こうした発表の機会も増えているのでしょう。本校からも2年の高力くんが発表者として、松倉くんが実行委員として参加していました。高力くんは「人間とは何か」という哲学的なテーマで、唯一ホワイトボードを使ってプレゼンを行い、表彰された4名に選ばれました。

卒業 40 周年記念式典 (10 月 19 日)

深志 31 回の皆さんの、卒業 40 周年の記念式典が 19 日の土曜日の午後、深志教育会館で開催されました。90 名を超える参加者があり、31 回生深志高現役教諭 (3 人います) による座談会、恩師による特別講義、深志クイズなど、趣向を凝らした様々な企画が続き、盛大でかつ楽しく和やかな会となりました。31 回生と言えば私が高校に入学した時の 2 年生、いろいろな角度から、様々な形で鍛えていただいた、思い出深い皆さんです。母校に対してご厚志とホワイトボードなど教材一式をご寄付いただきました。母校への熱い想いと楽しい時間、ありがとうございました。



その他の話題をいくつか



★ 近所のデイサービスセンターで音楽部が今年二度目の演奏会。機会を与えていただき感謝です。

今週の予定 (A 2)

日	曜日	行事等	その他(主に校長動向)
21	月	学年会	中高校長代表者会
22	火	即位礼正殿の儀	
23	水		校長会将来像研究専門委員会
24	木	防災訓練	
25	金	公開授業 (4 時限化学)	校長会用務
26	土	土曜授業 41 回生特別講義	41 回生卒業 30 周年記念式典
27	日		
28	月	(B 1) B 2 月の授業 学年会	

